

# 特殊詐欺の手口別被害状況 (令和2年中)

## オレオレ詐欺の被害状況

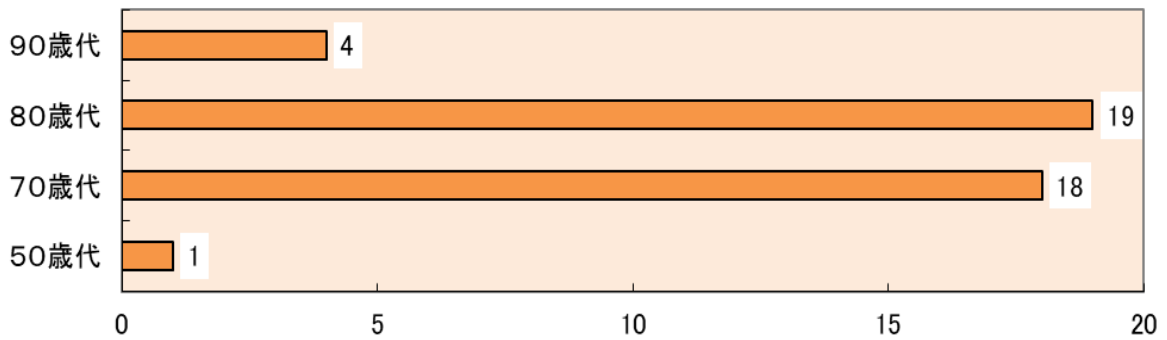
年別	発生件数	被害総額
令和2年	42件	約8,740万円
平成31年・令和元年	141件	約2億9,910万円
平成30年	147件	約2億3,870万円
平成29年	139件	約2億8,330万円
平成28年	103件	約2億8,170万円
平成27年	83件	約1億6,460万円
平成26年	141件	約4億3,880万円
平成25年	93件	約2億4,030万円
平成24年	29件	約8,280万円

被害件数は、42件で前年より99件減少しました。

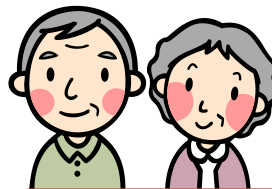
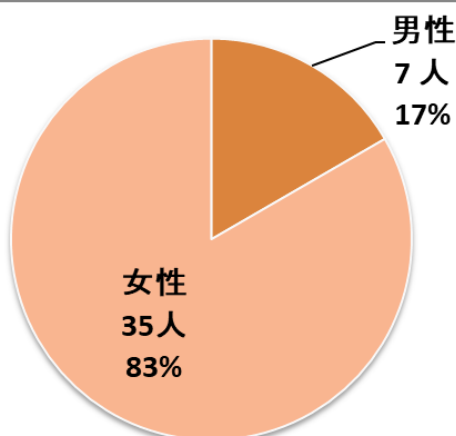


## オレオレ詐欺の年齢別・男女別被害者

被害者の年齢



被害者の男女別割合



オレオレ詐欺は、50～90歳代の方が被害にあっています。特に、**70・80歳代の方が37人(約88%)**と高い割合で被害にあっています。また、男女別では、**被害者の約83%が女性**となっています。

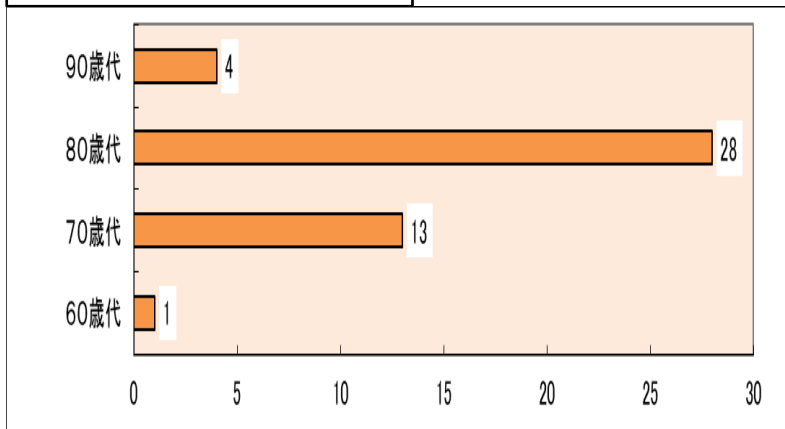
# 預貯金詐欺の被害状況

年別	発生件数	被害総額
令和2年	46件	約5,330万円

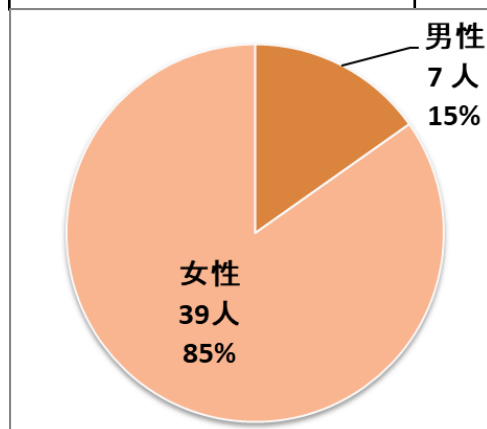
※ 預貯金詐欺とは、「あなたの口座が犯罪に利用されていて、キャッシュカードを交換する手続きが必要」などの名目でキャッシュカード、クレジットカード、通帳等をだまし取る手口で、以前はオレオレ詐欺に含まれていましたが、令和2年から新たに分類されました。

## 預貯金詐欺の年齢別・男女別被害者

被害者の年齢



被害者の男女別割合



# 架空料金請求詐欺の被害状況

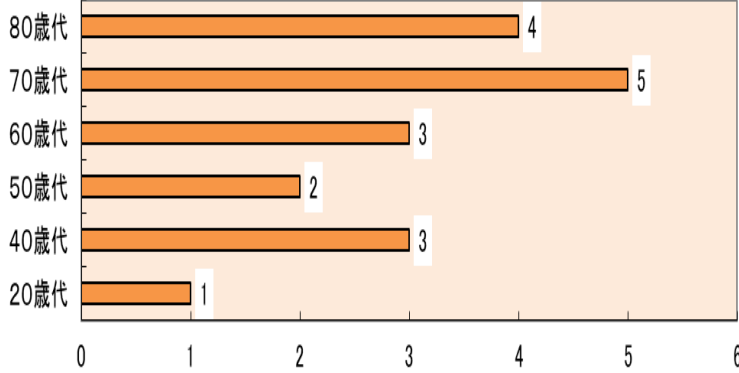
年別	発生件数	被害総額
令和2年	18件	約1億4,520万円
平成31年・令和元年	21件	約1億4,270万円
平成30年	38件	約9,640万円
平成29年	66件	約8,000万円
平成28年	41件	約1億4,170万円
平成27年	52件	約2億3,220万円
平成26年	27件	約1億8,350万円
平成25年	15件	約6,420万円
平成24年	11件	約2,450万円

被害件数は、18件で前年より3件減少しました。

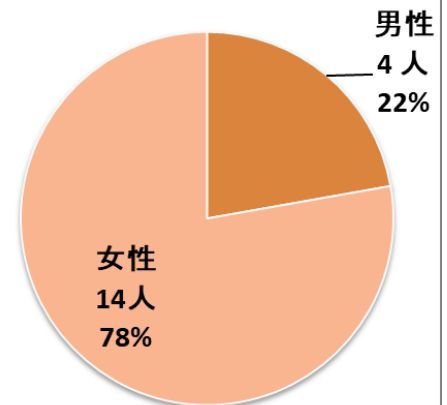


## 架空料金請求詐欺の年齢別・男女別被害者

被害者の年齢



被害者の男女別割合



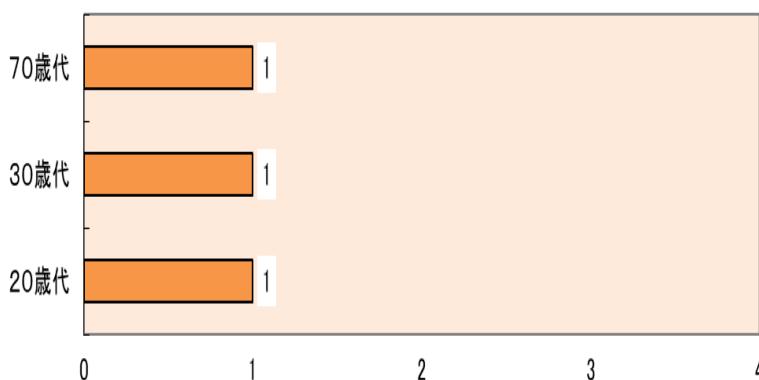
## 融資保証金詐欺の被害状況

年別	発生件数	被害総額
令和2年	3件	約370万円
平成31年・令和元年	2件	約110万円
平成30年	9件	約740万円
平成29年	3件	約1,210万円
平成28年	6件	約840万円
平成27年	5件	約390万円
平成26年	6件	約860万円
平成25年	6件	約1,620万円
平成24年	4件	約1,040万円

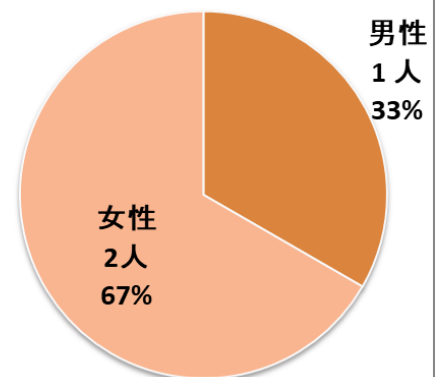
被害件数は、3件で前年より1件増加しました。

## 融資保証金詐欺の年齢別・男女別被害者

被害者の年齢



被害者の男女別割合



## 還付金詐欺の被害状況

年別	発生件数	被害総額
令和2年	0件	0円
平成31年・令和元年	2件	約200万円
平成30年	15件	約1,280万円
平成29年	45件	約4,810万円
平成28年	61件	約7,400万円
平成27年	29件	約3,560万円
平成26年	64件	約6,710万円
平成25年	14件	約1,290万円
平成24年	12件	約900万円

被害件数は、0件で前年より2件減少しました。



## 金融商品詐欺の被害状況

年別	発生件数	被害総額
令和2年	0件	0円
平成31年・令和元年	1件	約100万円
平成30年	2件	約100万円
平成29年	0件	0円
平成28年	10件	約6,860万円

被害件数は、0件で前年より1件減少しました。

## ギャンブル詐欺の被害状況

年別	発生件数	被害総額
令和2年	1件	約920万円
平成31年・令和元年	0件	0円
平成30年	0件	0円
平成29年	0件	0円
平成28年	1件	1万円

被害件数は、1件で前年より1件増加しました。

## 交際あっせん詐欺の被害状況

年別	発生件数	被害総額
令和2年	0件	0円
平成31年・令和元年	0件	0円
平成30年	0件	0円
平成29年	0件	0円
平成28年	0件	0円

被害件数は、0件で前年と同じでした。

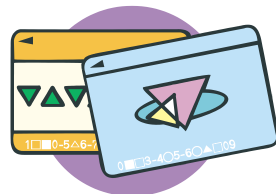
## 「その他」の詐欺の被害状況

年別	発生件数	被害総額
令和2年	0件	0円
平成31年・令和元年	0件	0円
平成30年	1件	約1,500万円
平成29年	0件	0円
平成28年	0件	0円

被害件数は、0件で前年と同じでした。

# キャッシュカード”詐欺盗の被害状況

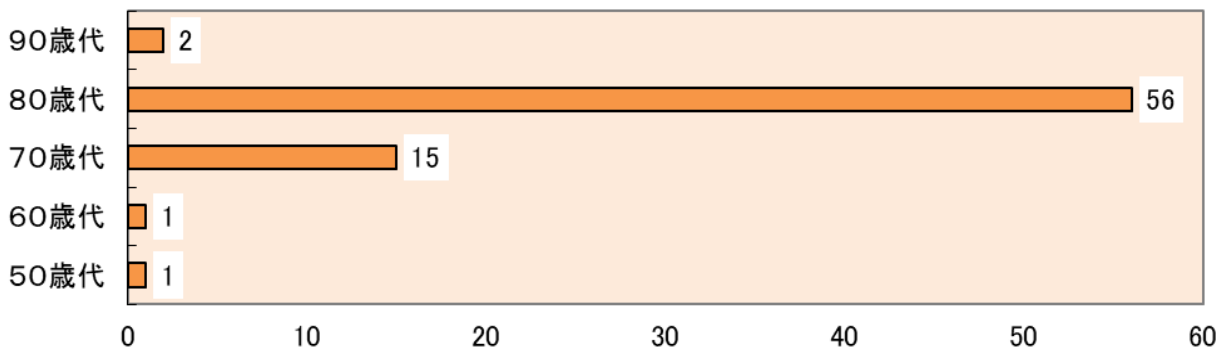
年別	発生件数	被害総額
令和2年	75件	約9,800万円
平成31年・令和元年	96件	約1億5,840万円
平成30年	25件	約4,700万円



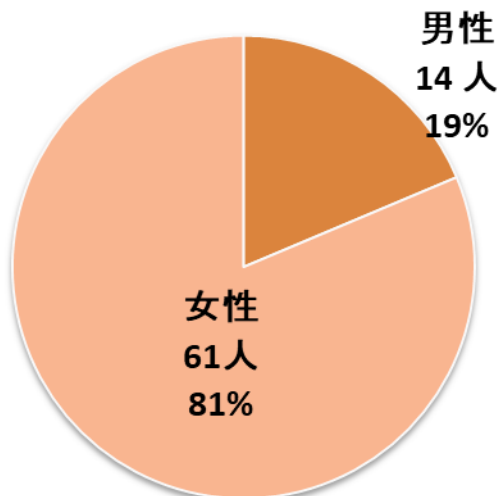
キャッシュカード”詐欺盗とは、警察官や銀行協会、百貨店等の職員を装って被害者に電話をかけ、「キャッシュカード”が不正に利用されているから確認します。」等と言って、キャッシュカード”を準備させ、家に来た犯人が家人に対してキャッシュカード”等を封筒に入れさせ、隙を見てこれをすり替えて盗み取るもので、平成30年頃から発生した手口です。

## キャッシュカード”詐欺盗の年齢別・男女別被害者

被害者の年齢



被害者の男女別割合



キャッシュカード”詐欺盗は、50～90歳代の方が被害にあっています。特に70・80歳代の方が71人（約95%）と高い割合で被害にあっています。また、男女別では被害者の約81%が女性となっています。



# ①オレオレ詐欺 ②預貯金詐欺 ③キャッシュカード”詐欺盗 住 地 別 被 害 状 況

被害者の居住地	被害者数(人)	被害者数の内訳		
		①オレオレ詐欺	②預貯金詐欺	③キャッシュカード”詐欺盗
前橋市	37	13	11	13
高崎市	34	4	13	17
伊勢崎市	23	4	5	14
太田市	10	5	1	4
館林市	7	0	1	6
藤岡市	8	2	4	2
桐生市	6	1	2	3
安中市	5	1	1	3
富岡市	11	1	6	4
みどり市	2	2	0	0
渋川市	7	1	1	5
沼田市	6	2	1	3
みなかみ町	1	1	0	0
大泉町	4	3	0	1
明和町	1	1	0	0
東吾妻町	1	1	0	0
合 計	163	42	46	75

## 【このような詐欺の被害に遭わないために・・・】

オレオレ詐欺、預貯金詐欺、キャッシュカード”詐欺盗は、息子や孫、甥、警察、金融庁、銀行協会、金融機関、百貨店などを装った犯人が、自宅の固定電話に電話を架けてきます。

このような詐欺電話に騙されないために、次のことに気を付けましょう。

- 詐欺の電話はどんな家にも架かってくるので、在宅中でも固定電話を留守番電話に設定しておくこと。
- 家族構成、口座残高、暗証番号などは絶対に教えないこと。
- 警察や公的機関の職員などと名乗る者が来ても、キャッシュカード”は絶対に渡さないこと。
- 自分ひとりで判断せずに、警察や身内の人に相談すること。

